長、ジョンソン公便は國務大官と フーヴァー大統領の方針により変の確定なるがカルス大使は歐洲局 以で変那を指導せんとしたに続し、ションソン公便は離駐支マ時大使カルス氏、同駐支外使ジョ た人でジョンソン公便は離駐支マ時大使カルス氏、同駐支外使ジョ た人でジョンソン公便は離駐支マ時大使カルス氏、同駐支外使ジョ た人でジョンソン公便は離駐支マ時大使カルス氏、同駐支外使が開発を扱っ

駐日支外交官が協力

英、米、佛何れも

各國野支外交の野女外交

軍縮兩全權は

小孩までタクシーで来るため、満電の電車名乗らずして全事勢のクシー界競爭の結集あらゆる方法で客をまだる艦減量の個用

英外相と會見

マ首相の會見せざる事情を

米國局長より陳辯

治廢實施の聲明に 關係各國が出 不の態度著し

これを行ふものとなる筈である支那に好意を示せるイギリスのラムブソン及使は二日ることに決定した殊にアメリカの態度は著るしく硬化してゐる論この抗議に難し列國ることに決定した殊にアメリカの態度は著るしく硬化してゐる論この抗議に難し列國 柳玉正蛭氏と打

「食物の有効を根據として取合はず事態に動き得策としてある有機である。 は英國と反動的に猛烈となり網點的不承認の態度を持してゐる日本雌は通告外であるは英國と反動的に猛烈となり網對的不承認の態度を持してゐる日本雌は通告外であるは英國と英語となり、アメリカの一人未國は突返した)の五ケ國中英國は本國政府の施嚴基及使に對する體質と相俟つて 《米國は突返した》 米國通電を突返す 【北平三日級電】

日本は断然不承認 れる響であるが右に 後の外人訴訟案件の

何等之に拘束されず無效であるとの立前を採り眺じて承職せずには日支間に新通商條約の総結される迄郷條約を有効とすとの芳に臨時依法は昨一日南京政府に於いて脱稿され扇三日中に公布され 館く窓場狀維持の歴度を

英國拔駈的

他の列强は依然協調

對支外交を一新 リカ側に通告せんとした際在東京アメリカ代表者は別選りだとて之が受理を拒絶した事實あり此等はが受理を拒絶した事實あり此等はからず常感せしめと ルス臨時財日大便は

過するものと思られて 支那商人の貿易上の知 支那商人の貿易上の知 であるらず支那人の貿 上の情策たる勝利今費が と変数を を耐くと進め 井上準之助氏試筆

大瀬大臣

斯くして臨實」なる處女地は が出来る、配してこれが地の利と が出来る、配してこれが地の利と が出来る、配してこれが地の利と が出来る、配してこれが地の利と が出来る、配してこれが地の利と が出来る、配してこれが地の利と が出来る、配してこれが地の利と が出来る、配してこれが地の利と

で表等の理想を性急に嫌難しては いべき悟るべき時の來るべき事が して長くとも贈き窓壁を含し

本の定類をで満州住て

ならない

った、誰ふ遊もなく機器を加工の地構製場も何の影響を受けない。

本人の企業經濟を堕落せしめた傾。復興の努力に關むで居る在滿州商 の少くないことを見聞するは預に 銀件が地の行政を管問題に関し脚を見る複様である 主多年の駆撃とされてゐる州外補の瞬時職はれるも強からず其 を課長出席の上雅で補州行政政策 まで右實行に就いてはその間 の時時職はれるも強からず其 がはしたが明れ、中谷時間長以下 は目下板神省でが解釈究中の は目下板神省でが解釈究中の は目下板神省でが解釈究中の は目下板神省でが解釈究中の

易の大勢を顧みて

內務局長 神田純一

日にか生存の原理は必ず後等に階が充分に之を理解しないでも何の

滿洲貿易で日満貿

英に注目

支那交涉員廢止

日本は地方政府と折 は除外

告された低率天、吉林、哈爾賓の 一切の外交案件は外交部の直接収 あり二日はそれら、各公使館に報 あり二日はそれら、各公使館に報

不平等諸條約は 王正廷氏記者に語る 千中撤廢 反動 閻氏

て本年

鄭州に到着した閻氏

いて各部局隊長に数し年頃の職示
田・宮は午前十時長宮應接領にお

満鐵の御用始

昭和五年度最初の訓示があった 講堂に警覧一同集合中尾製長から上警察署にても午前九時まり署内

日出戦のうらる丸にて上京の後定太田闘東長官は職會出席のため八

關東廳の御用始

藤田氏の謝電

唐、西北兩軍を傘下に收めん

~政權を握るか

附屬地行政權の 移管問題を協議 日午後九時何成裕、趙獻文、

功德山

今年は治る

既に全快へ

 本・方本は氏らを洗へ太原を出愛
 金三氏等其他祭地郵色軍を自己の
 本の間における政局の解來
 本のであらら、
 は勝山氏の出馬と
 本のであらら、
 は勝線山氏の銀下に收
 かるべく旅して反戦戦のとなるであらら、
 は勝線山氏の出馬と
 本の側にすべきかといふ問題とな
 を如何にすべきかといふ問題とな
 を如何にすべきかといる問題とな
 を如何にすべきがらな
 を知何にすべきかといる問題とな
 を知何にすべきがらな
 を知何にすべきかといる問題とな
 を知何になける政権を確認とな
 を知何にすべきがして
 を知何にすべきかといる問題とな
 を知何にすべきかといる問題と
 を知何にすべきかといる問題と
 を知何にすべきかといる問題と
 を知何にすべきかといる問題と
 を知何にすべきかといる問題と
 を知何にすべきかといる問題とな
 を知何にすべきかといる問題とな
 を知何における政権を確認とな
 を知何における政権を確認とな
 を知何における政権を確認とな
 を知何における政権を確認とな
 を知何における政権を必然を確認とな
 を知何における政権を必然を確認とな
 を知何における政権を
 を知何における政権を
 を知何における政権を
 を知何になける政権を
 を知何になける政権を
 を知何になける政権を
 を知何になける
 を知何にないる
 以權授受か

けふ關東廳會議室で

關東廳各課長

後兄の命に服すべし 手は全事を攀げて武漢に向ひ今 手は全事を攀げて武漢に向ひ今 五十五分旅戦者の野、師有団保安大港のうらる丸にて着連午後一時 あめりか丸で無低の豫定 脱長は九日入港のほんこん丸代素

取の詩使を行ふ一方徐瀬泉。鏡れ下二日要電」閻縁山氏は磨生 **逐寧省政府主席** 臧氏就任式

地方課長歡送迎會

寝もなく、徳木も出ぬ。

けるいより 長田中稔爾氏の観念迎倉を開催。十一時より吉野氏及び新住地方

四日は各官衙の御用始めである、 ・難し難井財務以長全 ・難長より一場の訓示を ・財子は午前十時全員を ・財子によりませる。 九で赴低の管であるが七日午前九 長三瀧叢秋氏は八日出帆のちらる 長三瀧叢秋氏は八日出帆のちらる

枯枝に励も飛ばず暮れんとす。

零下一点

生死を大悟して職定してゐただけ、相生由太郎氏、つひに思たず、 が、何といふても大連の相生で んだり、生きたり、白宝の芸化す 准實 ●流下 合

理っそれを強いたり、悲しんだ生くるもの、何時かは死ぬのが

この世の常理。

で、悟つて見るも思くは

男女年齢す不問用常教育を育るれる「異な年齢」不同 適信速成科百五〇名 募集 一人を助け自己を助ける場合なる 電療法教授

及び市役所に於ても夫々櫻井局長 部は年酸の事御打合せを貸し職員 部は年酸の事御打合せを貸し職員

個連の兼定である で四日午接四時四十

太田關東長官

來る八日上京

(熱海堤則)

はがき一本の手間で助かる

24 了宮

文

限正規で午前九時四十分顧舍に着床するや古雅な神樂駅の奏せられる裡、静かに御服は捲かれる本多準り行はれた、この日三殿は鳳に翻寂莊殿の秘護であつた、劉列の秋父宮、同妃、高松宮三殿下を始めり行はれた、この日三殿は鳳に翻寂莊殿の秘護であつた、劉列の秋父宮、同妃、高松宮三殿下を始め『東京特電三日震』三日は宮中池始祭につき宮中賢所島鹽殿神殿では午前十時から殿かな御祭輿が執「東京特電三日震』三日は宮中池始祭につき宮中賢所島鹽殿神殿では午前十時から殿かな御祭輿が執 さいしい。 大連港防波堤内氷結す 大連港防波堤内氷結す 大連港防波堤内氷結す 一大連港防波堤内氷結す 一大連港防波堤内氷結す 一大連港防波場内の数である、今朝の米の厚さは三四寸 一十三日の窓下十七度より更に二度の窓さである。 一大連帯防波場内の数で、際に向く縦いてある米を割って進む船の続は正 一十三日の窓下十七度より更に二度の窓さである。 一大連帯防波場内の数で、原に向く縦いてある米を割って進む船の続は正 一十三日の窓下十七度より更に二度の窓さである。 一大連帯防波場内の数である、今朝の米の厚さは三四寸 大連帯防波場内の数である。 一月を通じての最低温度一月 一十三日の窓下十七度より更に二度の窓さである。

後二時まで们、子、男の各有誤者神佛各派管長以下有野椒者の試罪を差許されたを始め認列點員の非確あり再び震樂裡に撤職して同十時五十分調祭與を整へさせらを始め認列點員の非確あり再び震樂裡に撤職して同十時五十分調祭與を整へさせられて表する、これよりさき天皇陛下には緩縮戦に渡御義権発御機の御策酷に羨を執られて表する。これよりさき天皇陛下には緩縮戦に渡御義権発御機の御策酷に羨を執られて表する。これよりさき天皇陛下には緩縮戦に渡御義権発過機の御策酷に羨を執られて 事典次長の奉仕で海、 歌の姚健然物を供へ奉り、大いで九條等夷長内領に進み恭べ 売奥を終へさせられ、 岡正午から午 に数を執らせられ、 あらせられて入御・文で

ばされ

御

御喪明けの

『東京三日愛電』皇太后陛下に

スピードを出し誤って電柱に観察しの損素を蒙らした。
「別の後方に接觸して教玉體」
「出一番地大連タグシー小祭四二」し、夏に先に外車して居つた前記

ピストルヒ首を擬して押入 八組强盜

選金級二十國在中の計劃し城市を 連り五五、沙河口市場米級郡田邊 を離方へ二人租の支那人强密侵入 を離方へ二人租の支那人强密侵入 でからして、沙河口市場米級郡田邊

沙河口市場に

財布を奪って逃ぐ

一個では代表を 一個では代表に手触して厳重して を を では代表に手触して厳重して を では代表に手触して厳重したが記入は未だ。 では代表に手触して厳重したが記入は未だ。

正面衝突 撮影中の権

心して行方や明中には

警察所**需**整

が一点で

八五四六番

蔡葉所孝話 ₹三二六二番

電流、乗組員中三名の死職は教育、 一日愛電 フォックス映鑑會社の 一日愛電 フォックス映鑑會社の 一日愛電 フォックス映鑑會社の 一日愛電 フォックス映鑑會社の 一日変電 フォックス映鑑會社の

生前の氏を語る愛き表象であらね 【東京四日愛職】 長き遠では三日生前の氏を語る愛き表象であらね 【東京四日愛職】 長き遠では三日生前の氏を語る愛き表象であらね 【東京四日愛職】 長き遠では三日生前の氏を語る愛き表象であられ 【東京四日愛職】 長き遠では三日生前の氏を語る愛き表象であられ 【東京四日愛職】 長き遠では三日生前の氏を語る愛き表象であられ 【東京四日愛職】 長き遠では三日生前の氏を語る愛き表象であられ **毕正六位脈六等を賜つたことは**

目出度い初

春に

死を急ぐ世童

千百二十圓也

大連世名一三二

教行されたが、告別式は七日の手により四日午前十一時間の手により四日午前十一時間がまなれば、 氏)

サクラビ

式

祉

淋しい翁の死

偉大なるもので、

功績を語る

新年御芽出度ふ御座います

叙位の御沙汰

大連市磐城町

満壽屋モスリン店

里話五二〇七番

舊年中は格別の御引立に預り難有厚く御禮申上ます 尚本年も不相變御愛顧の程偏に御願ひ申ます

昭和五年の帰明けて人は老若世を擧げてお屠蘇に無量長識を壽ぐ、師避から堪へに堪へて持越した鬱憤に身の造り場なく屠蘇原く、師避から堪へに堪へて持越した鬱憤に身の造り場なく屠疾の騒ぎを他所に死を求める人々が多い――日く屠蘇に無量長識を壽ぐ失業者の死、借金を苦に悩んでの死等々

借金を苦に

故澤正の先妻

渡瀨淳子死す

二日の朝、脳溢血で 桃代、正太郎の二兒を遺し

しル自殺

正月氣分が癪に障り

大連市監部通

尚本年も不相變御引立の程御願ひ申します。舊年中は格別の御引立に預り難有御禮申上げます 大連市信濃町吉野町角

辻山洋行新聞部 電話七四八五、七七三一番

0

話

発賣元

「東京三日發電」わか代の春を終 もまだ二日といふにひつそり聞と しづまり返って年質の客の要も見 たない、堂々たるモダーン官邸正 二、三枚の名刷が入つてあるぎり、時近くに内和大官戦励之権氏ほか

文集でも、車を ころ業客三名を乗せい

どにらい緊縮風

氏の名

お群日町行き二號深電車(運動手 一ついは二日午後六時十七分常盤 一ついは二日午後六時十七分常盤 一ついは二日午後六時十七分常盤

濱口さんの官邸に迄徹底した

四日年崩撃時三十分市内壁骸衛一で前方を自襲車にて疾走中の市内で前方を自襲車にて疾走中の市内で前方を自襲車にて疾走中の市内で前方を自襲車にて疾走中の市内で前方を自襲車が出来る。 配配に冷暖十日の打震傷を負さず通り使けんとし張を吹き 数けんとし 0

爲め おめでたら」の お客も半分

屠蘇氣分漂ふ街に

矢ツ張り自動車事故が第一位

元日から既に七件

歌便所より右側に折り

交通事故

二日午後一時四十分ごろ市内美濃 家屯に向ふ途中、伏見町十四番地 東京三番地日本概タクシー運輸兵 ででいる。 では、一日午後一時四十分ごろ市内美濃

間を要する貧働をなした 間を要する貧働をなした

屠蘇機嫌の無職もの

網命した、原因はかねて

これは病弱を 市内北端 地隔版州要關氏(Tむは二日午前五 地隔版州要關氏(Tむは二日午前五 を夫陽が競見したか、原因は家庭 を夫陽が競見したか、原因は家庭

て割腹

月も越されぬを舌に悩んだ結果。 生命に別條無し、原因は借金に正 生命に別條無し、原因は借金に正 はないでリゾールを繋下し自

職や詳)は四日午前四時ごろ自宅市内西公園町一〇七井上吉野(年

一日午前一時卅分ごろ市内大山通 二日午前九時十五分ごろ市内宏順 市川清治(こ)が紅葉町より同一番 (こ)は伏見町十一番地先きを疾聴 市川清治(こ)が紅葉町より同一番 (こ)は伏見町十一番地先きを疾聴 イニ)は伏見町十一番地先きを疾聴 中、人力車にて伊勢町某鴨院に診

(B)は左眼にそれん〜押機器像を建った 他で心身接続の諸果機能を建った 他で心身接続の諸果機能を建った でに心身接続の諸果機能を進った でに心身接続の諸果機能を進った でに心身接続の諸果機能を進った でに心身接続の諸果機能を進った でに心身接続の諸果機能を進った でに心身接続の諸果機能を進った

町大タク目動車運転手綴裏市Cと が経験し、縦は車を歩道に乗り場 が接験し、縦は車を歩道に乗り場 であったが乗客には

を進行中、並行して居つた宏廣衛 大安タクシー貨物自動車運轉手孫 大安タクシー貨物自動車運轉手孫

辰巳旅館で

刺には「御還麟の元旦の快ない、首相秘書官戸田由美

職が上げます」と認めてあって がいとい、第日首相は二日子。 がいとい、第日首相は二日子。 晴、大阪大阪利の音報を目出度く 一個人は多部を女中観元サヨノ が愛見、迎離は微鬱の末市役所に が愛見、迎離は微鬱の末市役所に が愛見、迎離は微鬱の末市役所に が愛見、迎離は微鬱の末市役所に 內當陸町三九歲已接触止衙、印飯縣縣玉縣北足立郡浦和町當時市

きのふ脳 わが満洲財界の重鎮、

果敢んだ男 コ 太郎翁



前回同様各方面に分配して資限な で各小要校に集まった餅を収鑑め で各小要校に集まった餅を収鑑め で各小要校に集まった餅を収鑑め で各小要校に集まった餅を収鑑め 慈善餅の分配

して遂に逝く

満期除隊兵

から在浦野人の一般商業を主としてな

金融機關

の整備

在満邦人の

自覺が肝要

三吉氏

は如何一度思ひをころに到さば風 海運が衰働した場合の現園の位置 変は立國にどんな影響があるか我 変は立國にどんな影響があるか我 我日本の海運に於て特に配合の進運と遠くかけ願れ (世を双肩に施つてるる海運教者が自己と表別の大生活に於て最低保護、 (世を双肩に施つてるる海運教者が自己を変別に施つてるる海運教者が自己を変別では無い筈であるか海道、関の乗りにあるか海道、関の東京に、一個と冷かでは無い筈である。

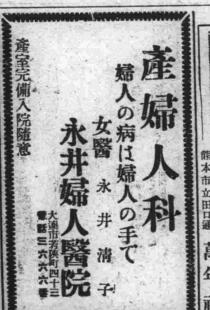
ボンベイは四十八智比八分の五と(十六分の七安)ニューョーク観壊は十二片十六分の三と(四分の三)

四十九部八分の一と(十六分の一四十九部八分の一と(十六分の一と)と上伸びし上海標金は四百六十七兩三と十一兩四と審り四百六十七兩三と

晶子第

一回主演映書

ますに ワ浸透療法 治る





難病奏効顯 透軌 れ幅らの野難を本書に記す秘法に由り 病者の思路に搭載すれば炎以上の激熱 所者の思路に搭載すれば炎以上の激熱 が、腫れを生ず)となり其効数 蓋 可 は、心腫れを生ず)となり其効数 蓋 可 もの育世界無比前人未發療法等でき もの有世界無比前人未發療法等なる。 於療法

村の戀愛金字

掌一握の

構

~

朝日新聞連載

智新年 大連生命保險株式會社大連出張所明治生命保險株式會社大連出張所明治生命保險株式會社大連出張所等國生命保險株式會社大連出張所等國生命保險株式會社大連出張所常盤生命保險株式會社大連出張所常盤生命保險株式會社大連出張所常盤生命保險株式會社大連出張所常盤生命保險株式會社大連出張所常盤生命保險株式會社大連出張所

婦女界推獎春。象徵半襟賣

小半

小間物十二種

屋

三商

語

松 良

兒人

陽 清 年新

医医 宗像建

コリサ

ユニワレルの原作より、少女演報十分観所散がイナミックな事間がおこる の傷辱填大山上に軽なるためにこの冷遇、この傷辱填大山上に軽なるためにこの冷遇、この傷辱填大山上に 高凑若服 月部 清明孔部 吉子雀夫

八雲惠美子(俊子)、 及川 道子(玲子) 八雲惠美子(俊子)、 及川 道子(玲子) 清水宏監督、 不壊の白珠の唄あり清水宏監督、 不壊の白珠の唄ありるつい相見ざること数年、再び遭遽せんとは誰ぞ知る!

格安中古品在庫 プリムス・其他各種

油油 稻 垣昌

戲編昌公司自動車部販賣所

電科 六醫

60 の供給力を凌駕し弊店も常に品薄勝の處今日新八荷各種品補保溫第一輕快至便民衆向新案特許品にて三府の流行は製造元品切中のマガレットオーバ御案内、依然人気マガレットオーバ新荷着 8 味美の上卓 各 納佛園童 地名産 東京風菓子謹製 **E** 葡 かの 酒 y のの三 類 猫バ 黑杯 V 珍 子漬漬 酒酒 食 料 000

A號ナ

會葬御禮 友親唐

が 大連案内所 大連案内所 荒津マキノ 村 村 郷 共 演 天保水滸傳 歌舞伎座の 歌喜樂 一萬圓。ダイヤ

糖を聚めて最尖端に駒を進む 見られる! 見られる!

谷崎 十郎助演

機揮

大咖山縣區 店 章 天 字治町 大正通

B競ナ

こして地にありにけり

サイビスト

重

しまづ朝牛は駐にひかれぬ

うやく鍵を入れむと

持つて使眠へ起った。

旅情集

緊縮と別の心で

八木沼丈夫

間もなく使が、左衛門の鬱風を

表を來るか裏を來るか、それは判したいが、あれを受取ると、酸くこないが、あれを受取ると、酸くことは必ず動くと思ふがどうだらう

でございます」

出初式討入ほどの晴れ姿

松の内敵同志も美願なり ・ 大連夢良緒 ・ 大連夢良緒 ・ 大連夢良緒

関手いのをに 可期河北區寺王天阪大 競技 院 薬 和 82

を変があってよいわけだ。おねした裏があつてよいわけだ。表にはまた裏があつてよいわけだ。おねしにもその邊の才獣はあらう――何

カルタ取りあのい

緊縮の春へお屠蘇の

かができた。 の名できなれる。 を表験、光・春 を表験、光・春 がれる。 できなれる。 でもなれる。 でもな、 をもな、 をもなな。 ともな。 をもな。 をもな。 をもな。 ともな。 ともな。 ともな。 ともな。 ともな。 ともな。 ともな

じて二三十人呼んでおくかー では使い、通

左衛門と黒住蔵八郎の密談であ

三ヶ日娘節るに

助一人、或は二人」

天盃へで、長命の日 回禮へ下女の氣

のれ

「今夜でないかと思ひます。こと

ドルに踏む土したしさよ事安の郡の ではいまはれにけり ではいまはれにけり

眼はつはつ吾立ちて見し

金閣寺

超城外 海

三つ四つに折つたのを展いて見

職の代は新しかつた。 ・ 一本日、東の野・十六日、標 ・ 十七日、東の野・十六日、標 ・ 十七日、東の野・十六日、標 ・ 十七日、東の野・十八日、標の ・ 十七日、東の野・十八日、標の

らかといふ問題です、夢之助は世之助が、ありのまゝに受収るかど

ちみが乗に夕願さしつ、見のゆゆもみが乗に夕願さしつ、見のゆゆ

(四)

安

(214)

平

事質山のお秀だつた。これた女は、 お秀は立止つて、何だらち―― そして、話はその明くる日の朝 流〇五 「さうかね、ではこれへ下しておって下さい」

母國に吾常かむとしが悪のゆい

母國に近く

幻住庵途上

問題の餌をやつてゐると、順新 裏庭の屋形の下に立ってゐるのと思った。 で、 質りの男、無難作に職を背に負っ 小門へすらッと引込むと、草贋 小門へすらッと引込むと、草贋 くれ」 を続は一足の草腹を取った。鳥目 を続け一足の草腹を取った。鳥目

なと地に落ちにけるかも はのかの大き様の影響に乗みて機 がのがもあらさりにけり

ひぞく 話をしてゐた。 「開巧さらでも女だな。おぬしの 「開巧さらでも女だな。おぬしの ったし の私室に二つの頭が寄りあつて、その時分、お順用人結婚左衛門 賣り職をたてながら行つてしま

發賣元 武藤

足に踏み止めて、人の頻繁に宛を聴き出すこともある。お秀は

やうです。が、あれを受取って夢 なやけく途々きこゆ を要する大原の里に極熱れて水舎 を要する大原の里に極熱れて水舎

ち乗紅く頬をめにけり

副業又妙

(説明書を請求せられよ) ★ET面の 中に100 ★1700 条都市に六一のバスハツブ寅物宣傳冷壊あり 乗湯を開始し又は變更せんさする方は御申込な乞ふ乗湯を開始しては變更せんさする方は御申込な乞ふ

館え性、流感に奇妙 他 対域人病、皮膚病、

610BATA REDISTERED.

TREDE MARK

醫治的効果に優る

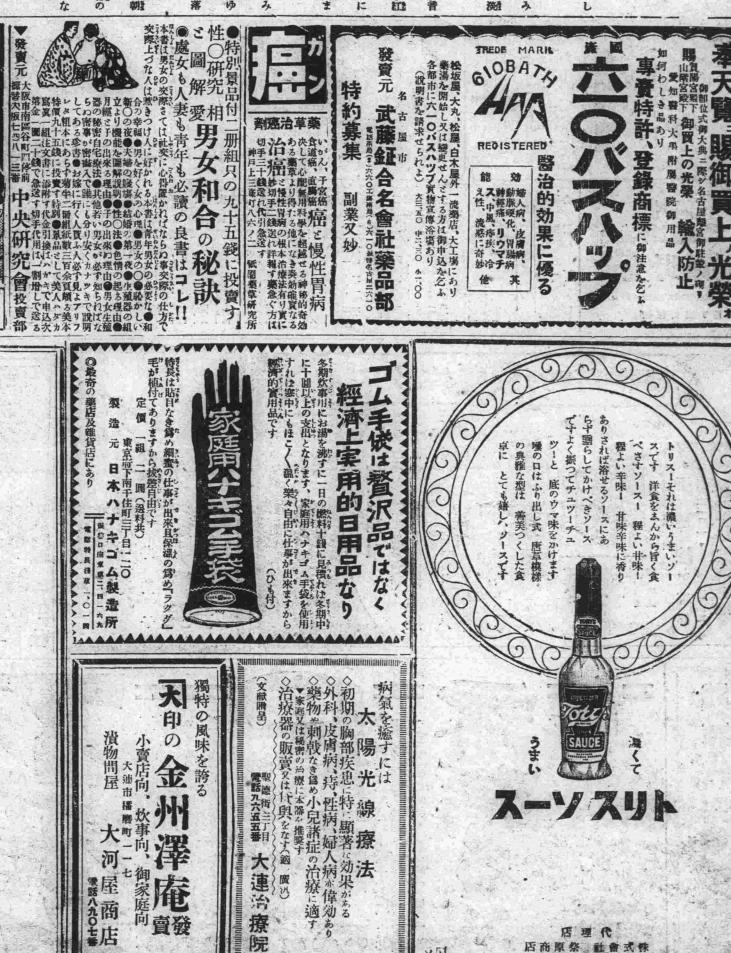
事責特計、登録高標に海注意などよ 0

②空氣銃大賣出し獨強へネル高級空系統 が進星でなが、大賣出し獨強ペネル高級空系統 が進星でなが、大賣出し獨強ダイアナ新教者 大阪市東編内本町一丁目 大阪市東編内本町一丁目 堂樂局本店 togtom

名聲萬里を往

天馬空を郷





易の大勢を顧みて

內務局長 神 田

-

滿洲貿易三日滿貿

開する英層の操作配約同様表示に
のない。

央、米、佛何れ

對支外交を一新

駐日支外交官が協力

治廢實施の聲

關係各國が抗議 小の態度著しく硬化 明に

これを行ふものとなる筈である支那に好意を示せるイギリスのラムプソン公使は二日朝王正廷氏と打ることに決定した殊にアメリカの態度は著るしく硬化してゐる倫この抗議に對し列國は欺議にて各自ることに決定した殊にアメリカの態度が一個形式の影明に對しイギリスを除く關係各國は近くこれに對し抗議することに決定した。 合せのため北平を出發し南京へ向った 【北平三日發電】治外決權撤嚴

支那交涉員廢止

注目を置いて居る

満洲は除外

マ省

中旬頃會見せん

マ首相休養中のため

米國通電を突返す 【北平二日發電】領事裁判機撤設

日本は断点であるとの立前を探り蹴じて承職せず働く透現状動物の態度を探るに確定しな日支間に新通商総称の総総される遊離総称を有効とすとの芳澤公便王正廷氏の協定に基き日本鰡は臨時搬送は昨一日南京政府に於いて脱稿され帰三日中に公布される管であるが右に對する日本の転策後の解放は昨一日南京政府に於いて脱稿され帰三日中に公布される管であるが右に對する日本の転策

他の列强は依然協調す 外交部が撤騰に闘する命令をアメ が受理を拒拠した事態あり此等は が受理を拒拠した事態あり此等は が受理を拒拠した事態あり此等は が受理を拒拠した事態あり此等は が受理を拒拠した事態あり此等は が受理を拒拠した事態があり、此等は が受理を拒拠した事態があり、此等は が受理をを関からず常熟せしめた ルス臨時駐日大便は我外務省とロ際的外交をなざんとする方針でカ

同情

『上海三日愛電』王正廷氏は三日 でステックホテルに招待し左の如 でステックホテルに招待し左の如 國民政府は過去に於て無數の難

井上準之助氏試筆

(日曜土)

りに於ても恐らく六七千萬圓を超 大藏大臣

合よりも順に付一 関方安いと云は 花り共同出荷を含す含めであるが 薬商の概然上の用意は之を以てし でも其の一般を察知することが出 来る練じて在補網商の概念は大艇 本るまでで在補網商の概念は大艇 金素上の度省を含すべきであると
という事なく却て之が含めた数多の
のみならず支那人の取品の理繁である。在溝が商は彼らに数多のである。在溝が商は彼らに数多のである。在溝が商は彼らに数多のである。在溝が商は彼らに数多のである。在溝が商は彼らに数多のである。在溝が商は彼らに数多のである。在溝が商は彼らに数多のであると 会よりも順に付一<u>関方安いと云は</u> 本の定期船で満洲仕向の荷物を設 るのに其の運賃は日本人の設る場

と ならない と ならない

が充分に之を理解しないでも何の

理想は貴く進歩は弛みして萬かを化育する如

等は支那の軍閥者流や政治者流の 域る、者はごびおぶ者は興る、我 である 大者はごびおぶ者は興る、我 である はいい 此故に満洲に於ける日

日満野暴に於て注意すべき翻巻なる最近の傾向は近年日滿野暴がなる最近の傾向は近年日滿野暴がなる最近の傾向は近年日滿野暴がなる最近の傾向は近年日滿野暴が、一時間にして民る事實である、施設が、一時間にして民る事實である、施設が、一時間にして民る事實である、施設が、一時間にして民る事情が、一時間にした。

一の安全質であると思 をよっている。 であると思 であると思 であると思

職東腰では四日午前十時中より會、首要職するところあった。 一種野に於て韓田、中谷剛尉長以下、は目下孫神省で抗解研究 を課長出席の上強て蔣州行政政策、郷で右實行に就いてはそこ を課長出席の上強て蔣州行政政策、郷で右實行に就いてはそこ がある。

援助する響で本年のアメリカ戦を 関のションソン公使の戦友外交を 関のションソン公使の戦友外交を は日本を中心に行ぶ機様である 管任すべく日本より佛の野支外交 養任すべく日本より佛の野支外交 を援助すべく本年の各國野支外交 關係各國は 英に注

か軍縮兩全權は

英外相と會見

マ首相の會見せざる事情を

米國局長より陳辯

マ心して目・國民政府と佛支安南 一致南京へ向つたが國民政府との 一致南京へ向つたが國民政府との 一致南京へ向つたが國民政府との 本学には、 、一、 本学には、 本をには、 、 本をには、 、 本をには、 本をには、 本をには、 本をには、 本をには、 本をには、 本をには、 本をには、 本をには、 まと、 本をには、 本をには、 本をには、 本をには、 本をには、 本をには、 本をには、 本をには、 本とには、 本とには、 本とには、 本とには、 本とには、 本とには、 本とには、 本とには、 本とには、 本と、 本とには、 本とには、 本とには、 本とには、 本とには、 本とには、 本とには、 本とには、 本とには、 、 本とには、 本とには、 本とには、 本とには、 をとには、 をとには、 をと、 をと、 をと、 をと、 よりが望あらば首相は何時にてもと会見せぬ事骸を陳黙し若概全閣とグロブナーハウスに勝い時全閣をグロブナーハウスに勝い時でなりでデナルド首相が雨全閣と会見せぬ事骸を陳黙し若概全閣と会見せぬ事骸を陳黙し若概全閣

外交は一新すると見らる又英國

告された但率天、吉林、哈爾賓の 一號の外交案件は外交部の直接収 がひとなすべき官各地領事に通告 かり二日はそれか、合金使館に報告 日本は地方政府と折衝方針 ド首相が常概全権と館がてイギリス新聞間に

調ありイギリス外

・ 首相は鑑賞 ・ である

不平等諸條約は 總て本年中撤廢 王正廷氏記者に語る

期軍を一

氏政権を握るか

鄭州に到着した閻氏

唐西北兩軍を傘下に收めん

満鐵の御用始

日午後九時何成游、

附屬地行政權の 移管問題を協議

けふ関東廳會議室

智軍の討伐を行ふ一方徐淑泉、観しと打電した『北平二日發電』闘縁山氏は唐生 後兄の命 河南平定後 政権授受か

河南田町の郷に驚き昨日隣氏に宛 混谷まれる原生智氏は岡錫山氏の 現谷まれる原生智氏は岡錫山氏の 後兄の命に服すべし を見りの命に服すべし 新田関東藤野和既長御野池辰雄氏 大地のうらる丸にて着連中後一時 五十五分旅岬着の野、協有田保安 既長は九日入港のほんこん丸代船

遼寧省政府主席 級氏就任式

大連民政党前地方既長吉野小二雄大連民政党前地方既長吉野小二雄門の大連慶舎、果随同党組合、海路的大連慶舎、果随同党組合、海路的大連慶舎、果随同党組合、海路の大連慶舎、果協同党組合、海路の大連慶舎、果協同党組合、海路の大連の場合、大連民政党前地方、大連民政党が開催。

九で赴低の筈であるが七日午间九人で赴低の筈であるが七日午间九人の上任期

(五日)西の風情 枯枝に鳥も飛ばず暮れんとす。 枯木製蔵、悟つて見るも悪くは 天氣隊報

けふいよく奉行

深もなく、徳水も出ぬ。 生死を大悟して職定してるただけ るが如く然り。 んだり、生きたり、印製の表來す 觀

地方課長歡送迎會

常理。それを強いたり、悲しんだ生くるもの。何時かは死ぬのが

りするのと

が、何といふても大連の相生で

作法婚禮式及初〇智識三冊和禮儀婚禮式及初〇智識三冊和

五昭年和

小孩までタクシーで來るため、滿電の電車名乗らずして全部勢タクシー界競爭の結果あらゆる方法で客をよぶ。 艦貨屋の御用

他の有名なる美神丸を聞きながら知りながらまだ色々と迷れのは質に気の毒……又可哀想でならない。 ・水使つて治らねば其原因は ・水使つて治られば其原因は ・水使って治られば其原因は

一本の手間で助かる

して全快に努めなさい。其れが罪亡しです。其れが男が大変は得退治を併服しなさい、良人なる男子も共に

職学等器にても午前九時より署内 は事務の概理を行つた、双大連水 は事務の概理を行つた、双大連水 は事務の概理を行つた、双大連水 は事務の概理を行つた、双大連水 は事務の概理を行つた、双大連水 は事務の概理を行った、双大連水 は事務の概理を行った、双大連水 日本の登記である。 き同地官民と年頭の挨拶を交換し 太田關東長官

日本電療所學

いて各部局職長に鉱し年頭の職示 田長官は午前十時長官應接端にお 田長官は年前十時長官應接端にお 昭和五年度最初の識示があった 藤田氏の謝電

を主とせる當寺の熊榮により必ず治ります。
思は唯一大自然にかへることと、大自然の奥へた草様木なかつた。がお喜び下さい今年こそきつと治ります。

關東廳の御用始

大級理事等の離も見えず重役既長、大い職職の御用始めである四日は全社 貴派を通じ在満日華人各位に宜各位の御健康と御幸福とを祈る各位の御健康と御幸福とを祈る

の練勝を相互に交換して十一時前 等の多くは感暇旅行中で不在者多 等の多くは感暇旅行中で不在者多

▲高柳本社々長四日本旅家河江支社長同伴にて太田長官、畑軍司会では、畑軍司会では、畑軍司会では、畑軍司会では、畑軍司会では、畑軍司会では、大連丸にて青島へ四日出帆の大連丸にて青島へ四日出帆の大連丸にて青島へ 迷ふてゐては今年も

今年は治る

たのです。既に全快へ

知らせいた

(=)

を始め参列総員の拜職あり再び突蒙裡に撤職して同十時五十分御祭典を終へさせられ、偏正午から午下宮相、鈴木侍從長其他の供奉で出側、賢所より順大三殿に御拜職あらせられて入側。文で各鳥族勢する、これよりさき天皇陛下には繊細殿に渡得黄檀楽御碗の御東帯に笏を執らせられ、林太部長官撃興攻長の挙仕で海、山十豊瀬の戦闘監物を供へ奉り、文いで九條撃夷長内陣に進み志々しく戦闘を撃興攻長の挙仕で海、山十豊瀬の戦闘監物を供へ奉り、文いで九條撃夷長内陣に進み志々しく戦闘を

千百二

預金に出かけて落す

後二時まで低、子、男の各有能者動佛各派管長以下有資格者の暴拜を崇託された

御喪明けの

新春をお迎へ

「東京三日發電」皇太后麾下には久々にて御喪明けの新春を御は久々にて御喪明けの新春を御所において、天皇陛下御親祭のが終の御騰に御親拝あらせられた。なは麾下には正午御駅の元始祭の御騰に御親拝あらせられた。なは麾下には正午御駅

元始祭の御儀に御親拜

脱正数で午前九時四十分帰舍に荒床するや古雅な神樂歌の奏せられる裡、静かに御巖は捲かれる本多葉り餐廳飯、東郷、山本剛大甌位、濱口首相、倉富福府籌長、元帥、各大臣、勅任官、同待遇は大武の行はれた、この日三殿は戯に鬱緑莊歐の神様であつた、歳列の疾父宮、同妃、高松宮三殿下を始め「**東宮特電室日歌**」三日は宮中元始祭につき宮中置所是霊殿綱殿では午前十時から戦かな得祭典が執 始祭につる 境であつた、歳列の秩父宮、同妃、高松宮三殿下を始め宮中賢所皇鑑殿神殿では午前十時から観かな御祭典が執

の新春の御祝詞を受けさせられた。北白川宮永久王、朝香宮紀久子女王縷等未成年の新春の御祝詞を受けさせられた。北白川宮永久王、朝香宮紀久子女王縷等未成年に

スピードを出し課つて電柱に衝突しの損害を漂らした響性の前方を傾切らんとして四十二號の後方に接觸して約五團・二十二器地大選タクシー小第四二し、夏に先に修車して居つた前記

沙河口市場に

H 一十三日の零下十七度より更に二度の寒さである

路蘇氣分漂ふ街に 間を要する負傷をなした間を要する負傷をなした

(B)は左腿にそれらく打撲突像を た市内条板町五四大連タクシー運 (C)は左腿にそれらく打撲突像を た市内条板町五四大連タクシー運 第一年 では、 大見町十四番地 東中に向ふ途中、伏見町十四番地 東中に向ふ途中、伏見町十四番地 東中に向ふ途中、伏見町十四番地 東中に向ふ途中、伏見町十四番地 東中に向ふ途中、伏見町十四番地 15、後方より疾走して來た春日野便所より右側に折れんとしたと 間中を市内西通り出土房郡山面村富時住所 市内西通り第二野津ビル三院第三 市内西通り第二野津ビル三院第三 市内西通り第二野津ビル三院第三 市内西通り第二野津ビル三院第三 市内西通り第二野津ビル三院第三

生前常に登れなるう

(日曜土)

矢ツ張り自動車事故が第一位

元日から既に

七件

日、大タク支店運輸予藤原薫で

疾途中の市内

爲め

際、沙沙口方面に向け進行して来 察に行く途中の市内重町九七番地地先き慈悪病院前に差しかよつた 中、人力車にて伊勢町実際院に診由川清治("ごが紅薫町より同一都 ("ごは伏見町十一番地先きを疾駆り十大番地、慣用タクシー運搬兵 衛三四大平タクシー運搬手奏通珠り十大番地、慣用タクシー運搬兵 衛三四大平タクシー運搬手奏通珠り十大番地、慣用タクシー運搬兵

果敢んだ男

が振騰し、縦は車を歩道に乗り続きためで、縦横なかつたが振騰し、縦は車を歩道に乗り続きを襲つたが乗客には、大きながあったが振りが、 三日午前九時頃市内日新街八番地大安タクシー 貨物自動車運輸手採大安タクシー貨物自動車運輸手採 まお展離をよばれた微解機戦に他人の築しさうな正月気分が機に降 生命には別縣ないが同人は永らく 生命には別縣ないが同人は永らく 反巳旅館で フラン

晴、大阪大峰利の清報を目出度く には「御還暦の元旦の快 月風にわが身の不幸を実改なんだ 間人は身寄もなく世間の樂しい正 同人は身寄もなく世間の樂しい正 內常陸町三九层已旅西止宿、印須原礦場玉縣北足中郡浦和町當時市 ごろ同館居間に於いて梁に紐を勝

由太郎翁

前回同様各方面に分配して教秘を を表示。 市内小敷物・三校の児童の裏捨に 市内小敷物・三校の児童の裏捨に よる側へ吸を各種熟養教養軟態に なが、三日もトラック二齢 でない敷物・三校の児童の裏捨に をない、三日もトラック二齢 でない敷め でないの。 でないの。 でない、 でないの。 でない、 でないの。 でないの。 でない。 でないの。 でない。 でな、 でない。 でな、 でな、 でな、 でな、 でな、 でな、 でない。 でない。 でな、 でな、

市内若狭町七四世ポースに修車せ市内若狭町七四世ポースにあば二日午後六時十七分常盤

おめでたう」の

お客も半分

濱口さんの官邸に迄徹底した

どいら

い緊縮風

氏の名

静景無が良い、海口首相は二日早 を控へて元ほぞく 朝かち夫人と会員の新家庭に行つ

成一部は二日午後

ふ脳溢血再發して遂に逝く わが満洲財界の重鎮

離の鑑ぎを他所に死を求める人々が多い──日く屠盛にも確へぬ越無く、師老から堪へに堪へて持越した鬱懺に身の造り場なく屠事出度し人への正月三日にも失張り吹荒ぶ生活苦の冷たい風は容芽出度を入れて人は老者世を撃げてお屠盛に無量長裔を誇ぐ昭和五年の寮明けて人は老者世を撃げてお屠盛に無量長裔を誇ぐ 目出度い 死を急ぐ世棄て人 初 の春に

借金を苦に 職へ群)は四日午前四時ごろ自宅 市内西公崎町一〇七井上吉好(年 ール自殺

失製者の死、借金を苦に

正月氣分が癪に障り

出双グ

割腹

ぎ懸命した、原因はかねて齒痛治 ぎ脱やを家人に發見され直ちに博 たが同三十分過 時ごろ便所内にて松死して居るの 地陶殿升集欄氏(Ta)は二日午前五 地陶殿升集欄氏(Ta)は二日午前五 子十九番 月も越されぬを苦に悩んだ結果。 生命に別解無し、原因は借金に正 生命に別解無し、原因は借金に正 生命に別解無し、原因は借金に正 が登財なる上に病職を悲酷してよを夫陶が愛見したが、原因は家庭時ごろ便所内にて極死して居るの

屠蘇機嫌の無職もの

或る意味で大臣町卵った」とこの十年 渡子は故郷正との概要行進順以来。 を放つて泣きの別離を惜しんだ。

大崎の火事

故相生氏に

尚本年も不相變御愛顧の程偏に御願ひ申ます 舊年中は格別の御引立に預り難有厚く御禮申上ます 新年御芽出度ふ御座います

大連市磐城町 **満壽屋モスリン店**

電話五二〇七番

尚本年も不相變御引立の程御願ひ申します舊年中は格別の御引立に預り難有御禮申上げます

辻山洋行新聞部 電話七四八五、七七三一番

■ 株 夏二、三〇 六〇 台 州 人 毛

桃代、正太郎の二兒を遺し 一日の朝、脳溢血で 本 『東京四日發電』長き邊では三日 た 外去した元商議婚職和生由太郎氏 に転した生前の攻勢を思召され左 の如く御沙汰あらせらるゝ由 で 正一位動五等 和生由太郎氏

胞へ出鍵時の厚意を謝す旨本日入時三十分大阪に上陸したが、指揮時三十分大阪に上陸したが、指揮時三年がより本紙を通じ在補同

大連市監部通 東亞

大連市信濃町吉野町角

發賣元

連若名言

サクラビー

刀ミ熱の

功績を語る

櫻麥酒株式會

正面衝突

撮影中の椿事

店電話

八五四六番

四五一五章

財布を奪って逃ぐ

八組强盜

は長事業に同氏が建した 地部の氏を語る食き表象であられ 生前の氏を語る食き表象であられ 生前の氏を語る食き表象であられ なたらぬ、殊に商工會議判倉頭た がはたらぬ、殊に商工會議判倉頭た を動き、で、三線職務問題、 の如く御沙野は特 に歌した生勢 に歌した生物の変は質に舞るの如く御沙野は を歌した生物の変は質に舞るのかといませる。

故澤正の先妻 渡瀨淳子死す

の銀行ありを得る必要制度調査会の協質を得る必要を得る必要を表する。

度調査會の議を經て されを認めるに就

永井婦人醫院

病は婦人の手で

永

は善いであって観査をなってとが必要であり、正確にせよ、満級にせよそれが、自己の無力が大連の如き地域を中心に同一の表別を覧む二個の銀行がと思ふ、曾て一時問題になった満級にせよるが大きまる。とは乗して何らかと思ふ、曾て一時問題になった満級にせよるが大きまる。

今日の

型 し那人の事業的基礎を繋ぎたし且 田 し那人の事業的基礎を繋ぎたし且 田 し那人の事業的基礎を繋ぎたします。 自身が自身する必要あること言ふ ともなくそれと同時に之等職人の 事業を 接くる金融機關の 改善整備をなすことが必要であら

金融機關

の整備

在滿邦人の

自覺が肝要

安田銀行頭取

森廣藏氏

見

三吉氏

未年得營して居るので之等を基礎として金融機関の整備を配りそのとして金融機関の整備を配りそのとして金融機関の整備を配りその変質機長に就て努力したならば在一変質機長に就て努力したならば在一次では各関係者間に於て此ばに就いては各関係者間に於て此ばにないでは各関係者間に於て此ばにないでは、一般に対している。

四四六六

に目ざましい。が海運は楽して如何であらう、歐洲大戦を期として、大きい船も少しは出來たし、新館といては思いが總體的には見て社會の選運と遠くかけ離れた見て社會の選運と遠くかけ離れた見て社會の選運と遠くかけ離れ れる。 会は日に月に進歩する最

は如何一度思ひをこゝに到さば眞明を強い表徴した場合の我國の位置を表した場合の我國の位置を表した場合の我國の位置を表した場合の表別の位置を表した場合の表別のなど、大阪を深くする 大生活に於て最大の一個人生活に於て最大の一個人生活に於て大力。 如 探察の 一個人生活に於て最大的。 一個人生活に於て大力。 一個人の如く五十銀一面と一個人の如く五十銀一面と一個人の如く五十銀一面と一個人の如く五十銀一面と一個人の如く五十銀一面と一個人の如く五十銀一面と一個人に過度に大力を要求すると共に現時の不過。 一個人生活に於て最大的一個と一個と一個と一個と一個と一個人に過度の不過。 一個人の如く五十銀一面と一個と一個と一個人の如く五十銀一面と一個人の如く五十銀一面と一個人の如く五十銀一面と一個人の一個人の一個人生活に於て最大的一個人生活に於て最大的一個人生活に於て最大的一個人生活に於て最大的一個人生活に於て最大的一個人生活に於て最大的一個人生活に於て最大的一個人生活に於て最大的人生活に於て最大的人生活に於了。 一個人人生活に於て最大的一個人生活に於て最大的人生活に於て最大的一個人の如く五十銀一面と一個人人生活に於て最大的一個人生活に於了。 一個人人生活に於て最大的一個人生活に於了一個人生活に於了一個人生活。 一個人人生活に於了一個人生活。 一個人人生活に於了一個人人生活。 「一個人人生活。」 「一個人人生活。」 「一個人人生活。」 「一個人人生活。」 「一個人人生活。」 「一個人の如く五十銀一面と一個人人生活。」 「一個人の如く五十銀一面と一個人人生活。」 「一個人人生活。」 「一個人の如く五十銀一面と一個人人生活。」 「一個人の如く五十銀一面と一個人人生活。」 「一個人の如く五十銀一面と一個人人生活。」 「一個人の如く五十銀一面と一個人人生活。」」 「一個人の如く五十銀一面と一個人人生活。」」 「一個人の如く五十銀一面と一個人人生活。」 「一個人人生活。」 「一個人人生活。」 「一個人の如く五十銀一面と一個人人生活。」 「一個人人生活。」 「一個人生活。」 「一個人生活。」 「一個人生活。」 「一個人生活。」 「一個人人生活。」 「一個人人生活。」 「一個人人生活。」 「一個人人生活。」 「一個人人生活。」 「一個人人生活。」 「一個人人生活。」 「一個人人生活。」 「一個人生活。」 「一個

六分の七安)ニューヨーク銀塊は一分分の七安)ニューヨーク銀塊は十一片十六分の五と(十低米の一途を辿りをりたるロンド 文は香は日米(電報不着)米日は の一と十六分の一安)と何れ當市 の一と十六分の一安)と何れ當市 四十六仙人分の三と(四分の三) 高)と上伸びし上海標金は四百六四十九朔八分の一と(十六分の一

を辿るものと見られてあるから地 物妙類は一段と下押を呈するだら もと観測されてある 七十四國六十銭と此め當市場開始以来の新安値で繋落した目先き銀以来の新安値で繋落した目先き銀 したので地場砂票以上の銀安材料止め當市場開始以来の高値を演出

保價の暴落で は質人氣に又豆粕豆油共に 豆は質人氣に又豆粕豆油共に 豆は質人氣に又豆粕豆油共に 豆は質人氣に又豆粕豆油共に 豆は質人氣に又豆粕豆油共に

病奏効顯

南池寛の不朽の機愛金字塔 松竹映 書化獨占 權掌握

握の

構

~

朝日新聞連載

日本生命保險株式會社大連出張所 帝國生命保險株式會社大連出張所 常盤生命保險株式會社大連出張所 常盤生命保險株式會社大連出張所 常盤生命保險株式會社大連出張所 常盤生命保險株式會社大連出張所 常盤生命保險株式會社大連出張所 不 連 支 店

小大 見人 用用

婦女界推獎春。象徵半襟賣出

小半

小間物は一種大連市浪速町磐城町角

屋

爱

商店

謹 新 生命保險同 松

良 平

8

酒

食

料

000

東京風菓子謹製

D

13

渍

年.新

赤シ

1

端バ

酒酒

葡

納佛國強

味美の上卓

かの

の三

黑杯

子漬漬

9

8

本各

地

名

産

珍

オか

通常

一第用信

在業時學 囘主演映畵 麵 4

が 大連案内所 大連案内所 大連案内所

歌舞伎座

伎座

?

12

友親唐

人成澤

早

子

高凑岩服田. 月部 浩明孔静 吉子雀夫

錢

一萬圓のダイヤー

夫となり、心にもなき生活に惱

戲福昌公司自動車部販賣所 格安中古品在庫 プリムス・其他各種 油油 稻 程 运 幸 次 郎 大連市若狭町三番地 電監問二 1 0 中 三番地

大連市 三根是信濃町岩 電話大四二 **皇院**

の供給力を凌駕し弊店も常に品薄勝の處今日新入荷各種品揃品切中のマガレットオーバ御案内紙然人気マガレットオーバ衛案内俄然人気マガレットオーバ新荷着 S 車 0 大油山縣 支 店 **季沙被** 天 字治町 大正通 B A 號 ケンネット號 ナ ,1 1 Z

五品初立金

期近、全部の支票の上票の出版の 出來高期近、七百四萬國 一个現、物取引、(單位錄) 銀對金銀對洋企對洋 銀對金銀對洋企對洋 上一時。第20 1100 122 1210 十二時。第20 1100 122 1210 十二時。第30 1100 122 1210 十二時。第30 1100 122 1210

株式出

痛經神スチマウリ膜腹クマクロ肺 サ浸透 試樂にて効果判然す 一様切手二枚)封入を開きにあり。

に治る 療法

ユニワレルの原作より、少女書報十8號所歌がイナミックな事間がおこる 解なるためにこの冷涸、この傷辱墳大山上に がおこる

演助

封建時代の選風のなか

た日封切!! 見られる! 見られる! 谷崎 十郎助演 荒津マキノヤ 村 神子 で 共演 天保水滸傳

歌舞伎座の E きこされ 計電

殿の十七月、東の難の十六日、機殿の十七月、泉殿の十六日、柳敷殿、十四日、藤の町は新しかつた。
・ 本三日、柳敷殿、十四日、藤の中三日、泉殿の十六日、柳敷と、十四日、藤の町は新しかつた。

ち乗紅く頼そめにけり

足に納み止めて、人の無配に氣を 時には、一本の塵から軍犬なも のを喚き出すこともある。お秀は のを吹き出すこともある。お秀は

つたし

乗さかる大原の壁に補いれて水音さやけく途々きこゆ 常盤木の山しづまりて夕照れる紅葉上里は稲熟れにけり がの木群立み立つ山のましづかに呼吸づく姿吾見つるかも 常盤木は群山守りて山祇の整飾ますや笹もちごかす

發賣元 武藤堡合名會社藥品都

副業又妙

(説明書を請求せられよ) 大三省の申17日の◆1、〇〇各郡市に六一〇バスハツブ賞物宣傳浴場あり各郡市に六一〇バスハツブ賞物宣傳浴場ありを記したるように関申込た乞ふ樂湯を開始しては聴見せんさする方に関申込た乞ふ

賣り驚をたてながら行つてしま

で御戦遊ばされたのだなと知るばかりで、幾知する事は出来ないのだった。その日割が手に入ったのだった。 常町なら知ってゐる特だの手だ。 宗町なら知ってゐる特だ知ってゐるはおろか、萬事宗軍の知ってゐるはおろか、萬事宗軍の知ってゐるはおろか、萬事宗軍の知ってゐるはおろか、萬事宗軍の知らびでもあらう。 「ちう來る時分……」「ちう來る時分……」 草障を一足、限かけのつ

はそとして地にありにけり はそとして地にありにけり 黒霞ける高麗の器に目さめたり赤き は橋に剔づく光 き状橋に剔づく光

つて始めて、昨夜はこと 持つて使願へ起った。

旅情集 八木沼丈夫

※納と別の心で屠瞞を助み 整脳の今日は門まで見殺られ ・泉・頭・俊・子・ ・男・頭・俊・子・ ・男・頭・俊・子・ ・男・頭・俊・子・ ・男・頭・俊・子・ ・男・頭・俊・子・ ・男・のか汰でなし お筬玉座敷で穿

年玉に子供の脚

アハナ

指箍

赤鼻

常にされてあて、翌明部屋の清めを襲へてあるのは、お秀にも判つを襲へてあるのは、お秀にも判つを要へてあるのは、お秀にも判つを要へであれて夜世に簑所

助一人、或は二人」

でて二三十人呼んでおくか」 でて二三十人呼んでおくか」

間もなく使が、左衛門の響配を 三ヶ日娘飾るに 新年御殿一錢玉 田も亦歌留多へ負 天盃へ双長命の

言るほん

「ながら周いへ入意に眼を配つた「さうだらら。それも考へぬでは、脚を焼いて先を削つた炭鉱だ、表を来るか、それは判しながら周いて先を削つた炭鉱だ、表を来るか、それは判したのとは必ず動くと思ふがどうだらら、緊
を来るか、それは判したのとは必ず動くと思ふがどうだらら、緊
をかった炭鉱だ、表を来るか、それは判したのとは必ず動くと思ふがどうだらら、緊 を表していた。といかく動きを聞えている。 では、まがあってよいわけだ。おぬし では、まがあってよいわけだ。おぬし では、まがあってよいわけだ。おぬし では、まがあってよいわけだ。おぬし

出初式討入ほどの晴れ姿 大連 凡 稚 神様へやために願ふれ 緊痛の春へお屠

回禮へ下女の氣 城光帝 あい子

名聲萬里を往

天

馬

空,

を

翔。



がに踏む土したしさよで安の都の であくるに磐球パし織僧の京のな であくるに磐球パし織僧の京のな 限はつはつ善立ちて見し。 太

夢良緒 =

をが値付でありますから 世が を受け出目なき 質め細さ を期次事用にお湯を売す で十国以上の支出となり すれは寒中にもほこく 家匯

製造

対印の金

大連治療院

をして、話はその明くる日の朝 をして、話はその明くる日の朝 をして、話はその明くる日の朝

流口西

って下さい」 とうだお選りなさ

默

(216)

「さうかね、ではこれへ下してお

母國に吾着かむとしが製のゆゝし

母國に近く

幻住庵途上

お秀は立止つて、何だらら

くれ」 を拂って、 を拂って、 を拂って、 を拂って、

寒塵の最形の下に立つてゐるのと思つた。

をやつてゐると、便新

で、 ・ 関うの男、無難作に職を背に負っ ・ 小門へすらッと見込むと、草履 ・ 本のの男、無難作に職を背に負っ

なと地に落ちにけるかも はいかの大き様の事際に築みて機 がのかもあらさりにけり

TREDE MARK

610BATA

REGISTERED

醫治的効果に優る

風に吹かれてヒラ

社會式株菜製禾森